

時事新報

本年ノ生糸商賈ハ如何ナル可キヤ

諸君若シハ必ス認認セラル、コナラシ我輩ハ本年三月十九日二十日ノ社説ヨリ外國ノ貿易見ルコ忍ビタルノ慘状ヲ呈スト題シ明治十四年十五年ノ兩年度ニ於テ我生糸商人ノ難ヲ一掃シテ生糸商人ノ社會ニ子遺ナキ有様ヲ開陳シ

又ハ銀行ニ失敗セザルモノハ殆ト稱ナレト云フ福島縣下ヲ始トシテ上州信州等ノ情況ヲ一聞シテ其事實ヲ知ル可

ノ生糸商人ト其金主ガ同一様ノ禍ニ罹リタリトアレハ強

度ノ生糸如何ヲ想像シテ以テ諸君ノ高評ヲ乞ハントス

前記ノ次第ナレハ本年産糸地方ニ於テ生糸賣買ノ媒介ニ

供ス可キ資本ハ殆ト皆無ナリト云ハナルヲ得ス最早八十

八夜ニ近ク桑芽發生ノ季節ニシテ地方ノ人民ハ漸ク養蠶

ノ用意ヲ整ヘ二箇月バカリノ間ニ繭ヲ作り出シテ之ヲ糸

ニ製シ其品物ノ漸ク生糸商人ノ手ニ渡リテ漸ク横濱ニ出

ルハ七月ヨリ少シク始マリテ八九月ヨリ次第ニ多ク本年

中ヨリ末年一二月ニシテ終リテ此間ノ商法ハ生糸爲換

トテ産糸地方ノ銀行若シテハ其地ノ金主ニシテ生糸商人ハ

品物原價ノ割合ニ從ヒ七割又ハ八割ノ金ヲ貸シ之ヲ横濱

ニ運轉シテ荷受ケノ開陳又ハ會社ヨリ代價ノ受取ル復シ

其金ヲ地方ニ現送シテ爲換費及ノ銀行ナレハ本年

ハ地方ニ金主シテ及銀行ナレハ本年ハ地方ニ有様ナレハ爲換

ノ横濱ニ運轉スルノ方便ナレハ再シテ之ヲ爲換ニ爲

ホ生糸ヲ横濱ニ運轉スルノ舟車ノ如クモナルニ舟八割

レ車夫死シテ荷物運轉ス可ラザルナリ

生糸ハ既ニ慣用ノ舟車ヲ失フナリト雖モ到底運轉ス可キ

モノナレハ無理ニモ之ヲ求メタルヲ得ズ即チ生糸商人無

理ノ金策ナル可シ無理ノ金策ハ必ス高利ニシテ危シ、危

キ高利ノ資金ヲ以テ品物ヲ仕入レントス、其品物ノ低價

カヲ賣レバ買フ可ラズ、從前金銀ノ不自由ナリ時ニハ先

ト等フテ物ヲ買ヒ之ヲ賣ル自カヲ其價ヲセリ上ルノ意

味アリモノガ本年ノ有様ニシテ下等ト稱シテ物ヲ賣

ルハ其價ヲ其額ノ半ニ賣ル可キトハ自カヲ其價ヲセリ下

等ト稱シテ物ヲ賣ルハ其價ヲ其額ノ半ニ賣ル可キトハ自カ

其不幸ニ尙忍テ可シ、他ノ不幸ニ其ノ幸ニシテ其

生糸商人ガ横濱ニ荷受ケノ者ニ高價ニ賣渡シ又輸出

スレバ利ヲ得ルノ人コソ異ナレ國ノ全面ヨリ見テ横濱

債フモノナレト事實ニ於テ然ルヲ得ズ前ニ云ハル如ク直

人等ハ高利ニシテ危ク然カモ極メテ急ナル資金ヲ備用

タル者ナレハ利益ノ多寡ヲ論スルコト遠ク如何ナル

利ニテモ唯奇ニ利益セハアレバ賣ラセテ得ズ買

キスルモノニシテ自然ニ品物ノ相場ニ低價セシメ結算

賣ノ手ニ餘計ノ利ヲ占メラル、ニ至ル可シ、道理ヲ以テ

云ハレ日本ノ生糸ハ支那伊太里等ノモノト其品格ヲ比較

シテ外國ノ市上ニ相場ヲ立ルコトナレバ内國ノ買渡相場

關スルコトナカル可キコト似タレトモ貿易上ノ實際ハ則チ然

ラズ品格ニ拘ハラズシテ價格ノ上下スルコトアリ例ヘル

糸ノ地方コトモ容易ニ品物ヲ手離サズシテ既ニ價ヲ増

シ、生糸商人モ至當ノ利ヲ見サレバ車口賣品ヲ所有セザ

テ容易ニ之ヲ賣ラズ、所謂商法ニ滿チテ其氣味ハ

ルガ如キ有様ナレバ日本生糸ノ全体ニ重キ加ヘテ其尤

ハ以テ海外ノ市チ左右スルニ足ル可キ貿易ノ價レトモ

人ノヨク知ル所ナレトモ今ヤ全ク其反對ヲ見ントスルハ

竟スルニ昨年一昨年兩年度ノ失敗ヲ以テ其餘運ヲ減

流シ運ニ我貿易ノ第一品ヲシテ其價格ヲ落シテ其

ノ慘狀ヲ腰シタルモノト云フ可キ尙其極度ノ窮乏ヲ云

ハ在横濱ノ外商等ガ地方ニ金融切迫シテ生糸ノ價レトモ

爲ニ低シトノ報告ヲ得タラバ或ハ何カ名義ヲ作シテ自

カラ其地ニ行ク賊又ハ手下ノ日本ハ利運ニ外國ノ買渡

以テ直ニ製糸者ニ就テ仕入レシ金レトモアラン、東京

京ヨリ高橋ヘノ鐵道運轉カタクシテ高橋成ス可キ

便利ナリトス、斯ノ如クハ則チ我生糸商人モ又荷受ケノ

雜報

○行幸 聖上ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ

○行幸 皇太后ハ前記ニ記セシ如ク来る十八日埼玉縣下

飯館及川崎橋邊ニ於テ近衛副大臣及大藏大臣等

爲シテ行幸在セル、近衛副大臣ハ御座ニ於テ